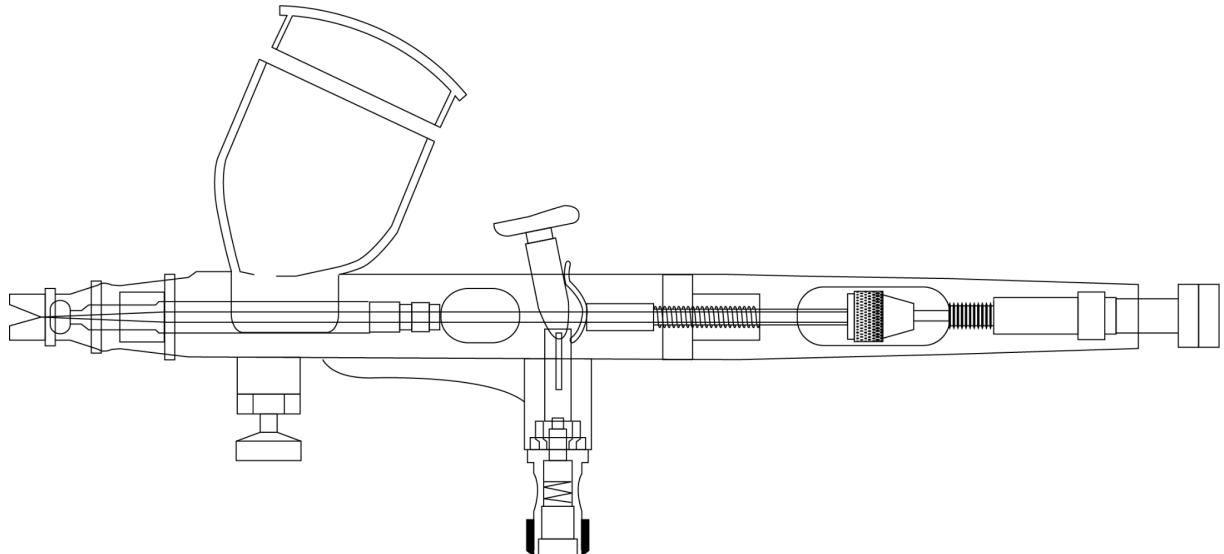




エアブラシ AW3シリーズ

AW-302,303,305

取扱説明書



この度はエアブラシAW3シリーズをお買い上げ頂き誠にありがとうございます。

本製品を安全にご使用頂く為に、必ず取扱説明書をお読みになり、使用方法を十分理解してからご使用下さい。こちらの取扱説明書は大切に保管して下さい。



エアブラシは塗装する為の道具です。それ以外の用途には絶対に使用しないで下さい。また塗料を噴霧する際には十分に換気をして、乳幼児やペットのいる環境では絶対に使用しないで下さい。

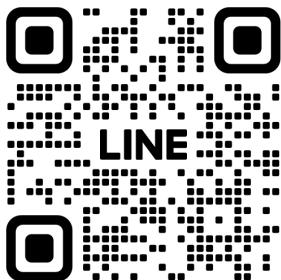
使用上の注意点

- 溶剤系の塗料を使用する場合は火気厳禁です。
- ニードルの先端は非常に鋭く危険な為取り扱いには十分注意して下さい。
- お子様だけでのご使用は避け、保護者の方の監視の元お使い下さい。
- 乳幼児やペットの居る環境での使用は絶対に使用しないで下さい。
- エアブラシは精密機械です。落下や強い衝撃にはご注意下さい。
- 塗装の際はマスクを着用し、十分な換気出来る環境でお使い下さい。

誤った使用用途による故障や事故や損害などが起きましても、弊社では一切の補償、責任を負いかねます。使用中に異常がある場合、ただちに使用を中止して下さい。

製品保証とサポートについて

当製品は購入後90日間の保証期間があり、初期不良に対しては保証が適用されます。保証に関するお問い合わせは、どうぞお気軽に【エアブラシワークス公式LINE】までご連絡ください。エアブラシサポートチームがスピーディーかつ丁寧に対応いたします。



お問い合わせは
エアブラシワークス公式LINEから

LINE 友だち追加

保証対象外の場合

- お客様自身による破損
- 消耗品の自然な劣化
- 取扱説明書の指示に反した使用方法
- 適切なメンテナンスが行われていない場合

* 保証は天災など特殊な事情により変更される場合があります。

エアブラシワークスサポートチーム

エアブラシワークス公式LINEでは、専門知識を持ったエアブラシワークスサポートチームが、エアブラシに関するあらゆる質問に、迅速かつ丁寧にアドバイスを提供しています。製品に関するご不明な点がある場合にはお気軽にご相談ください。

故障と思われる前に

故障と思われる前に、**エアブラシのトラブルシューティングをご確認ください。**多くの場合、エアブラシは実際には壊れておらず、正しい調整や使用方法の理解不足が原因であることがあります。そのため、使用前には必ず取扱説明書をお読みいただき、正しくお使いいただくことをお勧めします。

エアブラシのトラブルシューティング

ご使用前の注意事項

・本体に残ったテスト用の液体について

本製品は出荷前に全ての製品に吹付けテストを実施しております。そのため、テスト用の液体が本体に若干残っている場合がございます。予めご了承ください。

・ニードルの調整による塗料の漏れについて

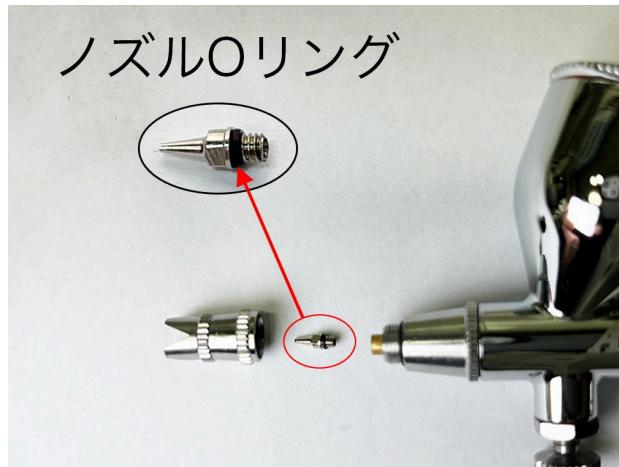
出荷前には、全製品に対してニードルの位置を最適な状態に調整しています。この「最適な位置」とは、塗料がギリギリ出ない位置を指します。この状態がエアブラシを最も扱い易くします。

しかし、塗料がギリギリ出ない位置が故に気温の変化などのわずかな環境変化により、ニードルの位置がずれることがあります。これにより、新品の状態であっても塗料が漏れてしまうことがあります。

ニードルの調整は、エアブラシの使用において全ユーザーが行うべき重要なメンテナンス作業です。したがって、新品時でもニードル調整によって解決可能な塗料の漏れは、**90日間の保証対象外**となります。

・清掃時のノズルの分解について

ノズルは使用後洗浄するたびに分解しないで下さい。ノズル周りは出荷前に最適な状態に調整されています。分解すると再調整が必要になる事と、ノズルに付いているノズルOリングが消耗品である為、清掃の為に毎回分解していると、Oリングが破損して塗料カップにエアーが逆流してしまいます。ノズルの分解はノズル内にゴミが詰まったなど異常が起きた時や、定期的なオーバーホールの時だけにして下さい。



ノズルを分解した際に生じる不具合は保証の対象外となります。不具合が発生した際にはノズルを分解せずに、速やかにエアブラシワールドサポートチームにご連絡下さい。

どうしてもノズルを分解しなければならない場合、下記の解説ページを用意しておりますので、内容を良く理解した上で作業をして下さい。

ノズルの分解について

この3点については予めご理解いただけますと幸いです。

エアブラシAW-302,303,305

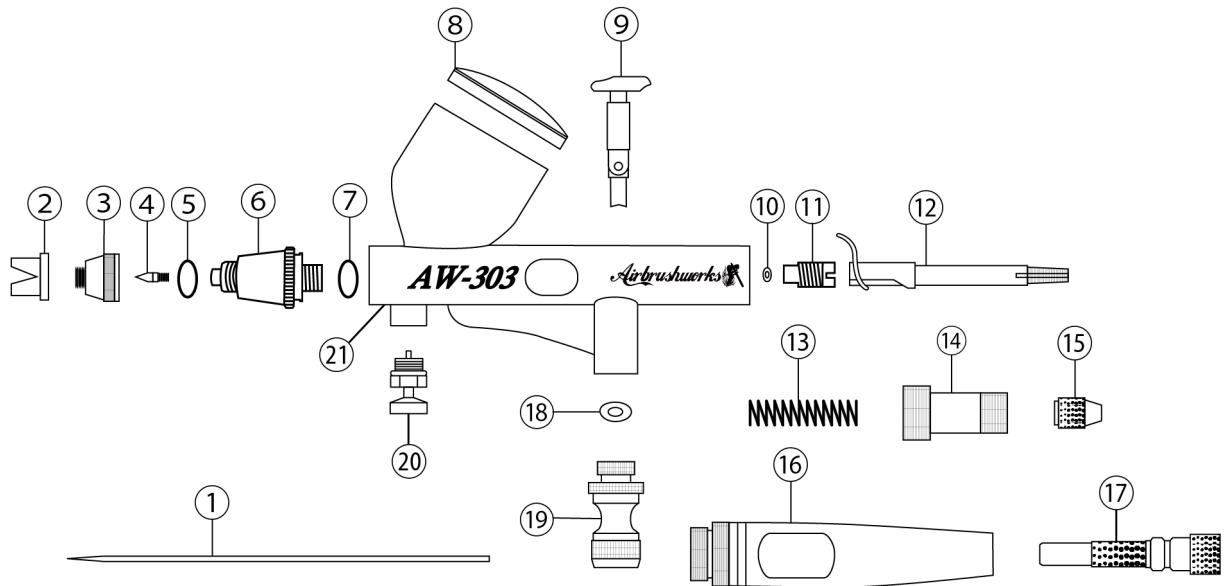
AW-3シリーズは「描き」にこだわったエアブラシとして、精密作業を可能にする0.2mm、0.3mm、0.5mmという3種類の口径を提供します。これにより、細かなディテールから広範囲にわたる塗装作業まで、あらゆるアートワークに対応します。エアーフローの調整機能を搭載し、手元で微細なエアーコントロールが可能です。



仕様表

動作方式	ダブルアクション
ノズル口径	AW-302 0.2mm AW-303 0.3mm AW-305 0.5mm
カップ容量	7cc
最低圧力	0.1Mpa
最適圧力	0.2Mpa
最高使用圧力	0.4Mpa
最細ライン幅	AW-302 0.2mm AW-303 0.3mm AW-305 0.5mm

エアブラシAW-3シリーズ分解図



1	ニードル	11	ニードルパッキンネジ
2	ニードルキヤップ	12	ニードルガイド
3	ノズルキヤップ	13	ニードルスプリング
4	ノズル(Oリング付き)	14	スプリングガイド
5	ノズルキヤップOリング	15	ニードルナット
6	ノズルベース	16	テールキヤップ
7	ノズルベースOリング	17	ニードルアジャスター
8	塗料カップ蓋	18	押しボタンOリング
9	押しボタン	19	エアーバルブアセンブリ
10	ニードルパッキン	20	エアー調整バルブ
		21	エアブラシ本体

エアブラシの使用前の準備

1 コンプレッサーの選択

エアブラシを使用するためにはコンプレッサーが必須です。AW-3シリーズで最適な性能を得るために、8L/min以上、できれば15L/min以上のコンプレッサーを推奨します。充電式コンプレッサーでも噴霧用途には利用できますが、AW-3の全性能を活かすには据え置き型のコンプレッサーがおすすめです。

2 圧力の設定

AW-3シリーズの最適な圧力設定は0.2Mpaですが、噴霧専用の場合は最低0.1Mpaの圧力でも使用可能です。AW-3シリーズには手元でのエアー調整が可能なエアーバルブが搭載されています。このため、エアーバルブによるエアーの抵抗を考慮して、通常より少し高めのエアー圧を設定することを推奨します。高めに設定されたエアー圧は、エアーバルブを通じて適切な流量に調整できるため、より精密なエアブラシ作業をサポートします。

最大使用圧力は0.4Mpaとなります。それ以上の圧力で長時間使用するとエアーバルブのパッキンが破損する場合があります。必ず0.4Mpa以下の圧力で使用して下さい。

3 塗料の選択と調整

AW-3シリーズは各所パッキンにテフロンを採用しているため、溶剤系塗料(ラッカーラ等)も安心してご使用いただけます。ただし、本機は纖細なミストと操作性を極限まで追求した精密モデルです。そのポテンシャルを最大限に引き出すため、粘度の高い塗料は専用希釈剤でしっかりと希釈調整を行ってください。

【サフェーサー・メタリック・トップコート等の使用について】

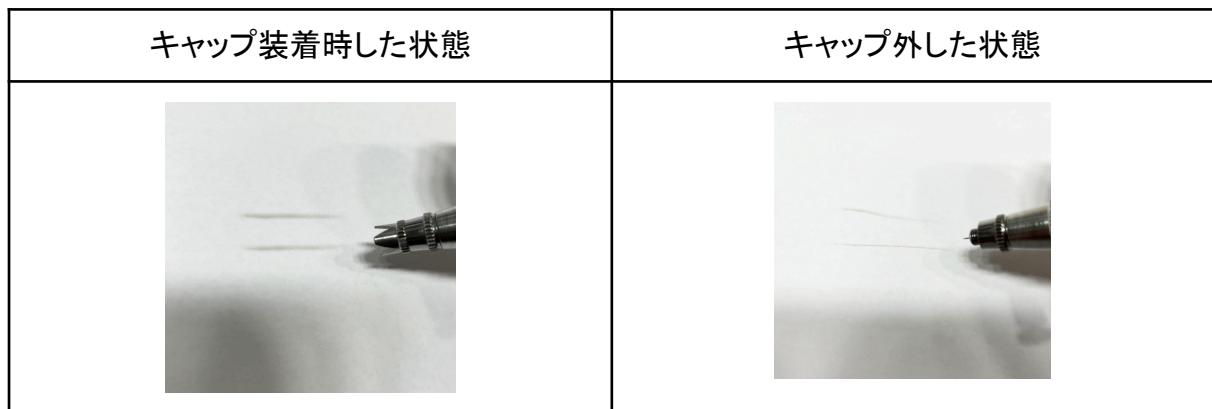
本機(AW-302/303)は4穴ノズルによる高い微粒化性能を持っており、サフやメタリックなどの粒子の粗い塗料も強力かつ滑らかに噴霧することができます。

しかし、粒子の粗い塗料を使用すると、顔料成分が内部に沈殿しやすく、本機の特徴である「精密な操作感」を低下させる要因となります。これは本機に限らず精密操作が出来るエアブラシ全般に言える事です。

精密操作を目的とされる方には、粒子の粗い塗料での使用は推奨いたしません。サフやメタリックには口径0.5mmの「AW-305」や塗装専用モデルの「AW-2シリーズ」等を使い分け、本機は「仕上げ・描画専用」として運用いただくことを、プロの視点から強くお勧めいたします。

4 ニードルキャップの取扱い

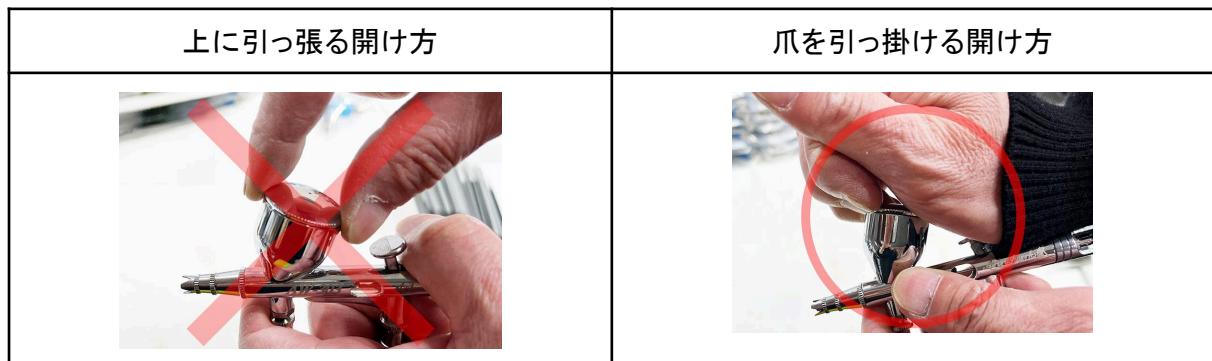
AW-3シリーズにはクラウンタイプのニードルキャップが標準装備されており、エアーの流れを外側に逃がす設計のため、キャップ内部の塗料による汚れが少なくなっています。しかし、エアブラシの潜在能力を最大限引き出すためには、このキャップを取り外すことをお勧めします。特に、細かいディテール作業を行う際には、キャップの有無による明確な違いが見られます。細部の精密な作業をする場合は、より良い結果を得るためにキャップを取り外してください。この方法により、より緻密で纖細な塗装効果が実現され、アーティストの表現の幅が広がります。



5蓋の開け方

塗料カップの蓋は、出荷前に適切な硬さに調整されています。蓋が簡単に脱落すると、塗料がこぼれて作品を汚す恐れがあるため、ある程度の硬さに設定されています。蓋が硬い場合、以下の方法をお試しください。

蓋を上に引っ張るのではなく、画像の様に爪を引っ掛けて開けます。



上記の方法を試しても蓋が硬すぎて開かない場合や、蓋が緩くて脱落してしまう場合は、蓋としての機能を果たしていないため、保証の対象となります。エアブラシワールドサポートチームにお問い合わせ下さい。

エアブラシの操作方法

動作確認

ご使用開始前に、エアブラシの動作確認を行ってください。希釀剤や水など粘度の低い液体でエアブラシの吹き付けテストを行って下さい。

操作方法

AW-3シリーズの操作はダブルアクション方式を採用しています。

これは、「エアーを出す操作」「塗料を出す操作」この2つのアクションが必要であることを意味します。2つの操作は以下の通りです。

押しボタンの操作

押すとエアーが出る



押しながら引くと塗料が出る



1.まずエアーだけを出す

ボタンを押すとエアーが出ます。初めての方や慣れない方は、このボタンを常に押したままの状態で操作を始めることをお勧めします。これにより、エアブラシから常にエアーが噴出される状態が維持されます。なお、この段階で塗料も出る場合、故障ではなく、ニードルの調整が必要です。詳しくはP23のニードルの調整を参照してください。

2.引いて塗料を出す

ボタンを押しながら後ろに引くと塗料が噴出します。ボタンを押し続ける中で、後ろに引く動作の強弱で塗料の量を調節できます。初心者の方は、ボタンを押し続けた状態で、塗料の出し入れだけに集中することで、より繊細かつスムーズに操作が行えることが出来ます。

弊社のエアブラシ指導からのアドバイス

弊社が20年以上運営してきたエアブラシスクールの経験から、多くの方が「押す」と「引く」の2つの動作を同時にを行うのを難しく感じる事が判明しています。このため、エアーを継続的に噴出させ、塗料の出し入れの操作にだけ集中するアプローチをおすすめします。これにより、多くの方がエアブラシをよりスムーズに操作できるようになったというデータがあります。

エアブラシの使用時には、使用を開始すると同時にエアーを出し始め、終了時にエアーを止めることが大切です。この手順を守ることで、終了時に塗料のミストを散らかすミスを防ぐことができます

塗料のミストを飛ばしてしまうミス



こちらの操作を水又は希釈剤にて行って下さい。
不具合が発生した場合、トラブルシューティングを参照して下さい。

塗料の混ぜ方

エアブラシAW-3シリーズで塗料を使用する際は、以下の手順に従ってください。

希釀剤の使用

希釀が必要な塗料を使用する場合、まず希釀剤をエアブラシのカップに入れてください。その後、塗料を加えます。この順序で行うことで、塗料が均一に混ざりやすくなり、ノズルの先端に濃い塗料が溜まるのを防ぎます。

希釀不要の塗料

希釀不要の塗料は、直接エアブラシのカップに注ぎ入れてください。

塗料の混合

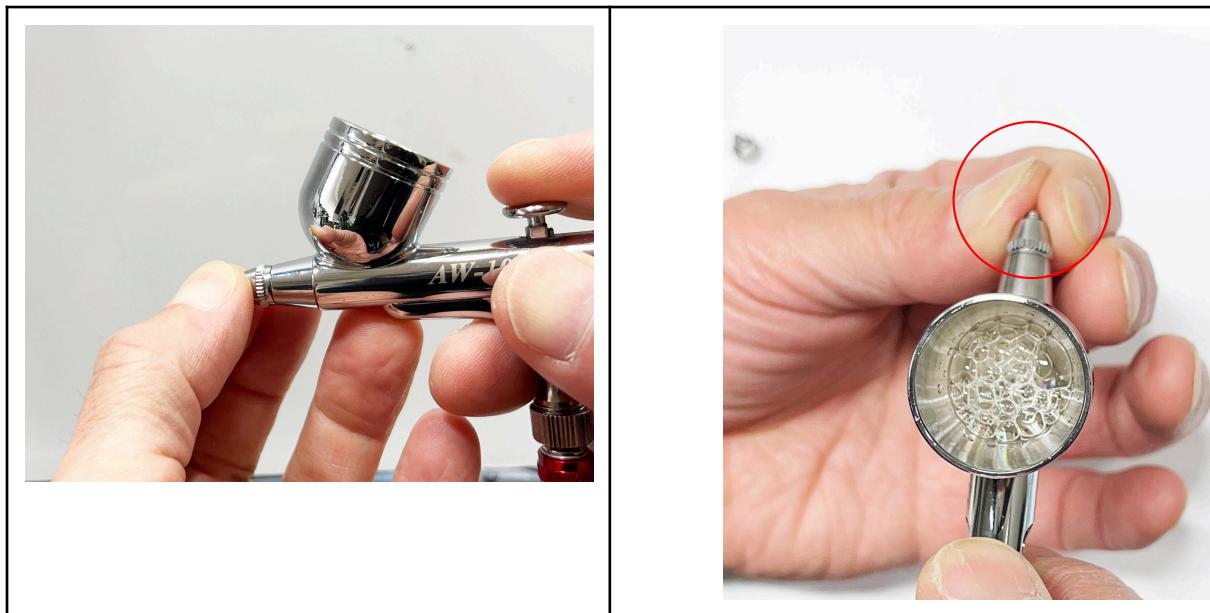
通常のエアブラシではニードルキャップの先端を抑えて塗料を逆流させて混ぜますが、AW-3のクラウンタイプのニードルキャップの場合、先端を抑えて隙間からエアーが漏れてしまいます。そのため、キャップを付けたまま逆流させる場合はノズルキャップを数週緩める必要があります。



画像に示すようにエアーを逆流させて塗料を混ぜ合わせると、約2~30秒で均一に混ざります。

ニードルキャップを外した場合

ノズルキャップを外した後、画像のようにエアブラシの先端を指で軽く摘むと、塗料を逆流させることができます。

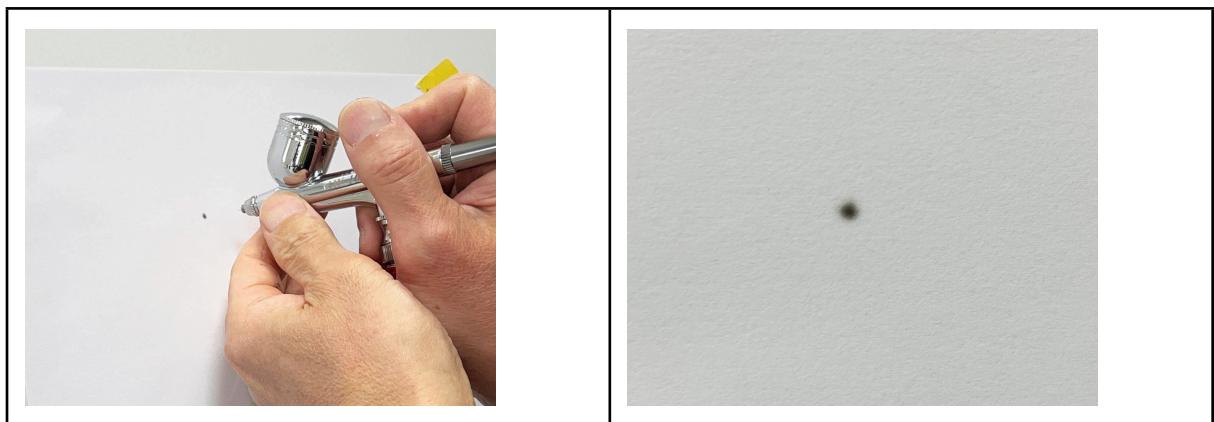


上手く逆流しない場合、ウエスや柔らかい布を使用して先端を摘むと良いでしょう。これにより、より密閉された状態を作り出し、効果的にエアーの逆流を促進します。

エアブラシの使用方法

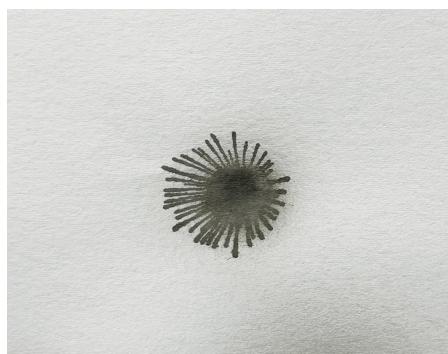
本製品はダブルアクションとなっており、ボタンを押しながら引くことで塗料を噴霧できます。先ほどの説明の通り、エアーは常に押して出し続け、塗料の量を調整するためにボタンを引いたり戻したりします。

エアブラシを対象物に近づけて、押しボタンを僅かに引きながらドット(点)を吹いてみます。(画像はAW-1を使用)



エアブラシを対象物に近づけたので、小さなドットが描けます。

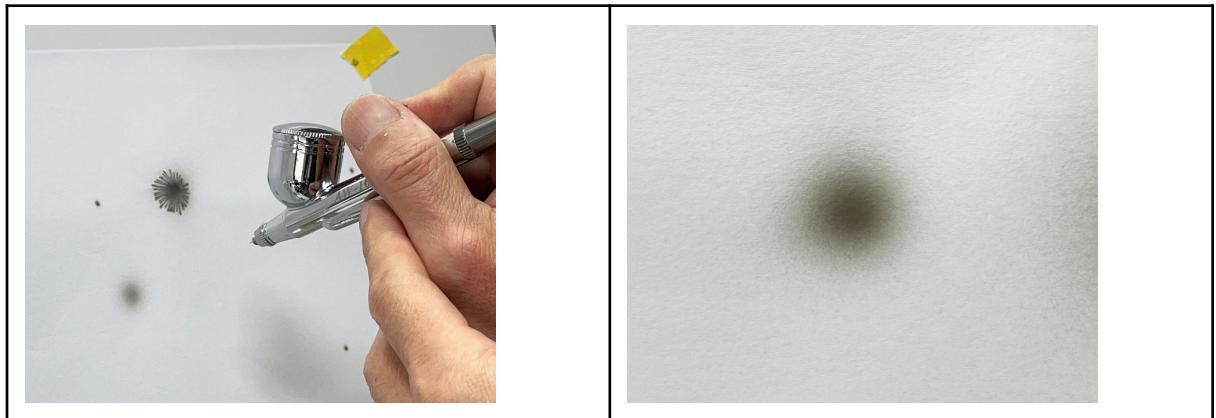
次は同じ距離で押しボタンを沢山引きます。



すると塗料が滑って花火の様な模様が出来ます。

これは画面に付着した塗料が乾く前に次の塗料が付着して、塗料が滑っている状態です。

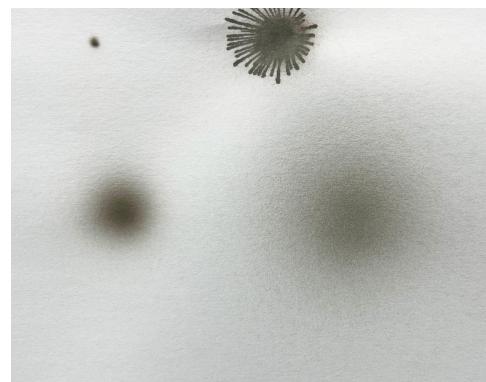
今度は距離を離して押しボタンを少しだけ引いてみます。



先程よりも大きなドットが描けます。

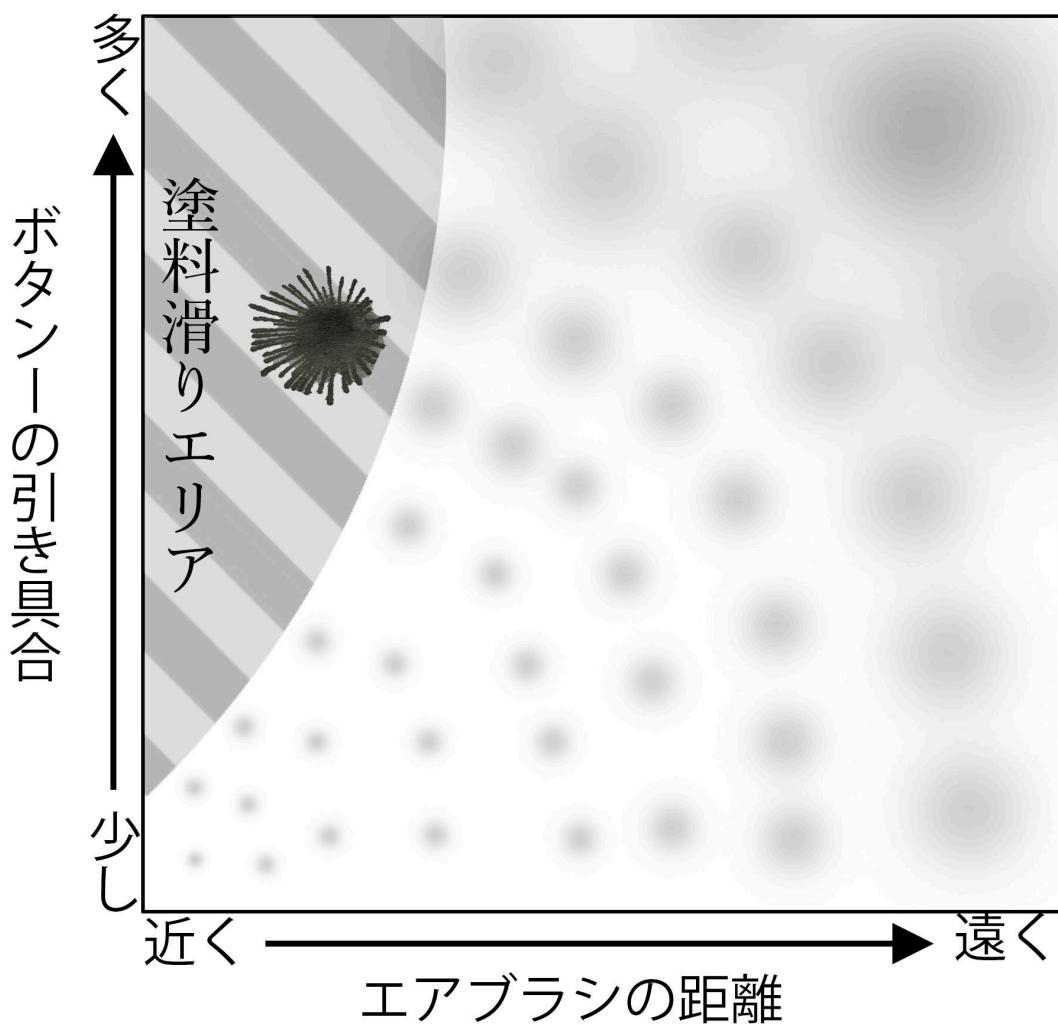
今度は同じ距離で押しボタンを沢山開けます。

すると先程よりも数倍大きなドットが描けます。



エアブラシは距離とボタンの引き具合でパターンの大きさが変化します。

エアブラシの塗装パターンの大きさ



エアブラシの塗装パターンは、「エアブラシと対象物の距離」や「押しボタンの引き具合」によって変わります。押しボタンを多く引くことで、距離を離すよりもパターンが広がることがポイントです。

しかし、近い位置でボタンを強く引きすぎると塗料が滑ってしまいます。このため、距離とボタンの引き具合のバランスを練習し、適切な範囲での塗装をマスターしてください。注意点として、使用する塗料の粘度も影響を及ぼすため、希釈剤で調整して下さい。

エアー調整バルブの使用方法



AW-3シリーズは本体に組み込まれたエアーバルブがあります。このエアーバルブにより、塗装をしながらエアの流量を調整することができます。この機能により、作業中にエアーブラシの圧力を細かく変更し、様々な塗装効果を実現することができます。

各エアーブラシモデルには、最適なエアーアー压が存在します。AW-3シリーズにおいては、この最適圧力は0.2MPaと設定されています。この圧力で使用することで、エアーブラシの性能を最大限に発揮することができます。そのため、エアーバルブは通常、全開の位置に設定します。

しかし実際の塗装作業では、エアーアー压の要件が異なることがあります。細かいディテールや特定の効果には、0.2MPaより低い圧力が適切な場合もありますし、広範囲の塗装や速乾性を求める際には、より高い圧力が必要です。AW-3のエアーバルブ機能は、これらの多様な要件に対応するために重要です。エアーバルブを瞬時に調整可能なので、性能を最大限に引き出し、0.2MPaという基準圧力を超えた多様な塗装作業を実現できます。

エアーを絞る場面

細かなディテールや繊細なシェーディングが必要な時、エアーを絞ることで精密なコントロールが可能になります。低い圧力に設定することで、細やかな作業を実現できます。

エアーを開ける場面

広範囲の塗装や迅速な乾燥が求められる際には、エアーを開けることが効果的です。より高い圧力により、大きな範囲を迅速かつ均一に塗装することができます。

ニードルアジャスターの使用方法

ニードルアジャスターは、エアブラシの塗料の吐出量を一定に保つための機能です。このアジャスターを調整することで、押しボタンを全開に引いた際の塗料の流量をコントロールできます。



ニードルアジャスターを絞ることで、塗料の吐出量を限定し、細いラインの描画など、一定の流量を要する作業に適します。特に初心者にとって、この機能は細かい作業を行いやすくするために有効です。

しかし、エアブラシの主な長所は、押しボタンの操作により吐出量をリアルタイムに調整できる柔軟性にあります。ニードルアジャスターを使用して吐出量を制限すると、この柔軟性が制約されてしまいます。

したがって、エアブラシの操作に慣れた後は、ニードルアジャスターを全開の位置に設定し、押しボタンを自由に操作することをお勧めします。これにより、エアブラシの全機能を最大限に活用し、多様な塗装技術を実現することができます。

テールキャップの位置調整

テールキャップのデザインには、ニードル固定ネジ部分が露出し、穴が開いている特徴があります。使用者の手の形状によっては、この穴に指が入り込み、持ちにくく感じる場合があります。このような状況に対処するためには、以下の方法をお試しください。



テールキャップを上下方向に回転させて位置を変更すると、穴に指が食い込まないように調整することができます。この簡単な調整により、より快適にエアブラシを操作できるようになります。指が自然に収まる位置にテールキャップをセットすることで、より安定した塗装が可能になります。

エアブラシ練習方法のお勧め

弊社が20年以上運営していた「エアブラシアートスクール」の内容をオンラインプラットフォームに再現し、会員登録するだけで、リアルスクール1ヶ月分のカリキュラムを無料で学ぶ事が出来ます。

エアブラシアートだけでなく、プラモデルやメイクなど様々な使用用途の方にもこのカリキュラムでエアブラシの基本操作を応用出来ます。有料エリアもありますが、無料エリアだけでも本格的なプロが教えるエアブラシの基本操作を学べますので、是非この機会にエアブラシの基本操作を学んでみて下さい。

[エアブラシオンラインスクール入門編](#)



エアブラシのメンテナンス方法

エアブラシは精密な機器であるため、使用後の丁寧な掃除と定期的な分解によるメンテナンスが必要です。

使用後の掃除

水性塗料の場合



水性塗料を使用した後は、水道水やバケツに水を張って洗浄します。



エアブラシから水が透明になるまで、水を逆流させて内部を洗い流します。ただし、逆流だけではノズル内部に空気しか入らないため、吹き付けと逆流を交互に繰り返すことが効果的です。



塗料が固まってしまった部分は、洗浄液と硬めの筆(豚毛の平筆がおすすめ)を使用して、固まった塗料を溶かしながら洗浄します。この方法で、エアブラシの内部を綺麗に保つことができます。

溶剤系塗料の場合



シンナーなどの洗浄液をエアブラシのカップに入れます。吹き付けと逆流を交互に行い、洗浄液が透明になるまで繰り返して内部を洗浄します。



ウエスや固めの筆などで周りに付着した塗料を洗浄します。

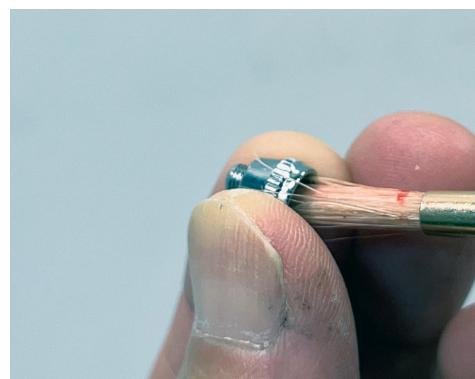


最後にシンナーなどの洗浄液をもう一度エアブラシに入れて逆流させます。この時、洗浄液が透明になっていれば、内部が十分に洗浄されていることを示しています。

ノズル周りの清掃

水性塗料、溶剤系塗料のどちらの塗料でも使用後は毎回ノズル周りの清掃をします。

ノズルキャップを外して確認します。画像の様に塗料が付着していたら掃除が必要です。



筆やウエスなどで洗浄します。

ノズルキャップの内側は、エアブラシでエアーが通過する重要な通路です。汚れがたまるとエアブラシの性能に影響を与え、調子を悪くしてしまうことがあります。**もしエアブラシの動作が不調になった場合、まずノズルキャップ内部の清掃を試みることをお勧めします。**このシンプルなメンテナンスが、多くの場合、問題の解決につながります。

定期的なメンテナンス

定期的なメンテナンスはエアブラシを全て分解するオーバーホールを行います。エアブラシは構造上長く使用しているとニードルパッキンが緩んでテーブルエリアに塗料が漏れて来ます。塗料がテーブルエリアに漏れ出すと初期段階としてエアーが止まらない現象が現れます。そのまま使用していると、2次的なトラブルを次々と発生させますので、エアーが止まらない現象が起きた時点で全て分解してオーバーホールをお勧めします。

オーバーホールは弊社から発売している「エアブラシメンテナンAll-in-oneキット」を使用すると便利です。下記のリンクには「エアブラシメンテナンAll-in-oneキット」とエアブラシのオーバーホールの手順が記載されていますので、参考にしてみて下さい。

エアブラシメンテナンAll-in-oneキット



ニードルの調整方法

ニードルの調整は全てのユーザーが行うべき重要なメンテナンス作業です。出荷時にベストな位置で調整してありますが、気温など少しの環境変化でニードルの位置が変わりますので、お客様ご自身で再調整が必要となります。



テールキャップを取り、ニードルナットを緩めます。軽く緩める程度で良いです。



エアーを出しながら塗料の止まる所までニードルを奥に押します。

塗料が漏れないギリギリの状態がエアブラシを最も扱い易くします。

塗料が止まらない場合、ニードルを更に奥に押し込んでください。AWシリーズのノズルは銅製で強度が高いので、多少強く押し込んでも変形しません。塗料が漏れてしまうノズルは調整次第で扱い易いエアブラシにもなります。

調整しても塗料が漏れてしまう場合、初期不良のみ保証の対象となります。サポートチームにお問合せ下さい。塗料を入れて使用したエアブラシについてはゴミが詰まっている可能性がある為、保証の対象外とさせて頂きます。

スプリングガイドの調整方法

スプリングガイドは、エアブラシの押しボタンを引く際の硬さの調整に使用します。この部品を締めるとボタンが硬くなり、逆に緩めると柔らかくなります。自分の好みに合わせて調整してください。しかし、あまりにも強く締めたり、逆に緩め過ぎたりすると、不具合が発生しますので、下記の注意点を守って下さい。

- スプリングガイドを強く締め過ぎると、ボタンを十分に引けなくなり、塗料の出方が悪くなります。
- スプリングガイドを緩め過ぎると、ニードルが正しく戻らなくなり、塗料が止まらない問題が起こります。

このため、適切な締め具合で使用することが重要です。

スプリングガイドを目一杯締めた状態	適度な締め具合の状態
<p>締め過ぎの状態</p>  <p>スプリングガイド</p>	<p>適切な締め具合</p>  <p>スプリングガイド</p>

ニードルとノズルの交換について

ニードルとノズルは消耗部品です。消耗したら交換が必要になります。

ニードルを曲げてしまった場合



ニードルを曲がった場合ピンセットなどでも補修が可能ですが、一時的な処置となります。少しでも曲がっていると細い線が出ませんので、交換が必要です。

ニードルの先端は非常に鋭利に作られています。少し当たるだけでも曲がってしまいます。本体に挿入する時も慎重に挿入して下さい。また非常に鋭利な為十分注意して扱って下さい。

ノズルの交換

AWシリーズのノズルは銅製で、一般的な真鍮製のノズルに比べて数倍の強度があります。しかし、ノズルは消耗品であり、エアブラシを落としてノズルが変形したり、消耗して先端が割れた場合には交換が必要です。

交換時期の目安

- エアブラシが落下してノズルが変形した場合
- ノズルの先端が割れたり、消耗した場合

エアブラシの調子が悪くなった場合、ノズルの交換で改善されることが多いため、予備のノズルを数個ストックしておくことをお勧めします。

ノズルの交換方法



取り外しはレンチを使用し、左側に回して下さい。右側に回した場合簡単に折れてしまうのでご注意下さい。



ノズルを指で締め、手で止まったところから、レンチで数ミクロン(ごくわずか)回す程度にしましょう。

締め過ぎると簡単に折れてしまうので、慎重に締めて下さい。

ノズルが折れてしまった場合

ノズルが折れてしまった場合、解説ページを用意しております下記のページをご参照下さい。

折れたノズルの取り出し方

AWシリーズのノズルにはOリングが付いていますので、ノズルシール剤は必要ありません。

ノズルシール剤の使用方法

ノズルの脱着を頻繁に行うと、ノズルOリングが破損することがあります。ノズルOリングは単品での販売ができないため、ノズルを交換するか、ノズルシール剤を塗布します。

ノズルシール剤は弊社で販売している「エアブラシメンテナンスAll -in-oneキット」に含まれております。

ノズルシール剤の正しい塗り方については、下記の解説ページをご参照ください。

ノズルシール剤の塗り方

ノズルのセンター調整

ノズルの交換を行う際、ノズルとノズルキヤップの位置がズレることがあります。このため、センター位置の調整が必要となります。



プライヤーやその他の道具を使って調整は可能ですが、「エアブラシメンテナンスキット」に含まれる「ノズルセンターツール」を使うと作業が簡単になります。

具体的な使用方法については、ノズルセンター出しの解説ページを用意しております。下記をご参考下さい。

[ノズルのセンター出し](#)

トラブルシューティング

エアブラシの操作中に何らかの問題を感じた場合は、以下のトラブルシューティングの指針をご参考ください。これらは弊社が20年以上にわたり運営してきたエアブラシスクールでの経験と、そこで受けた膨大な質問に基づいて構築されたものです。このガイドは、エアブラシのほとんどの一般的なトラブルに対する解決策を提供し、迅速に問題を解決するための助けとなることでしょう。

エアブラシのトラブルシューティング

症状1 塗料が出ない

症状2 塗料は出るが調子が悪い

症状3 塗料の塊が定期的に出る

症状4 エアーが出ない(空気が出ない)

症状5 エアーが止まらない

症状6 エアーが僅かに漏れる

症状7 細い線が出ない

症状8 エアーが逆流する(うがい状態になる)

症状9 塗料が漏れる

症状10 ニードルが動かない

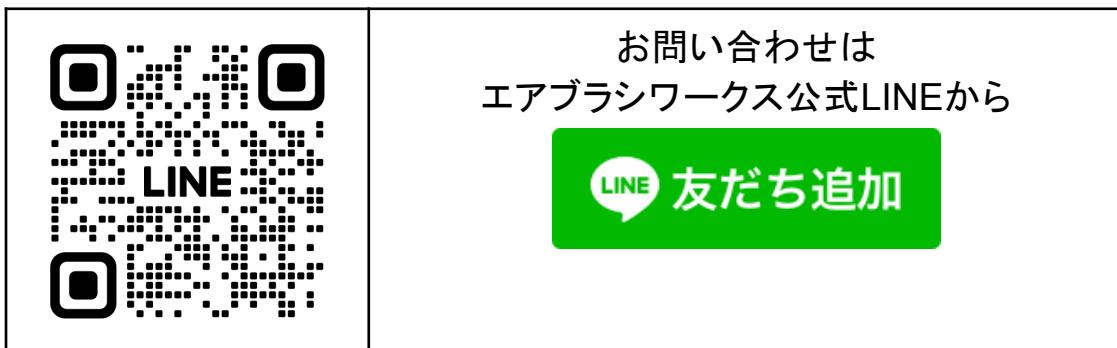
症状11 線が途切れる

症状12 エアブラシから水が出てくる

エアブラシワークス

【エアブラシワークス】は、エアブラシアーチストChuutaが創設したエアブラシブランドです。自ら操作する観点から、ユーザーにとって扱い易いエアブラシを追求し、さまざまなエアブラシワークの可能性を広げます。

<u>エアブラシワークス</u>	<u>エアブラシオンラインスクール</u>
<u>AWシリーズストアー</u>	<u>エアブラシアフターパーツ</u>



販売元
株式会社エアブラシワークス
<https://airbrush.works>

〒420-0801
静岡県静岡市葵区東千代田1-7-4 2F

TEL054-689-2976
info@airbrush.works

